

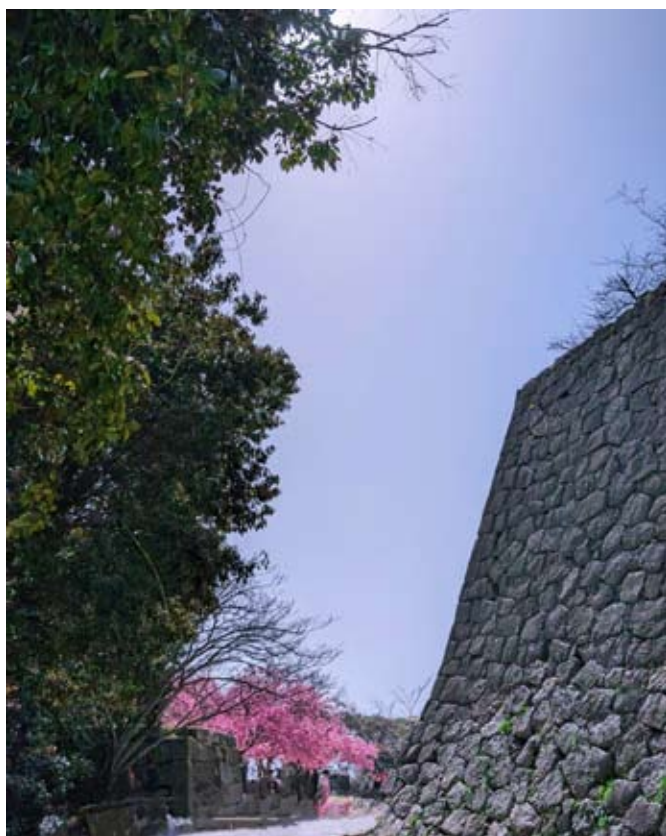
十分条件

多田龍介

◆ 目次

| | |
|--------|----|
| 心技体 | 6 |
| サービス | 8 |
| 十分条件 | 10 |
| 異論三歌 | 12 |
| ギャロップ | 14 |
| こつちやこー | 16 |
| できる男？ | 18 |

| | |
|----------|----|
| 未法の世 | 20 |
| プロポーズ | 22 |
| ギスギスマったり | 24 |
| 縮こまる | 26 |
| 国際化 | 28 |
| シンブル・イズ | 30 |
| 精神病院 | 32 |



心技体

頭と心と体とある

これらの要求が一体だとい

頭（理性）、心（感情）、体（肉体）

現代、精神科は心と頭と間違えた

そのせいでへろへろになる子が増えている
ええ、ヤクで。

インテリは肉体を

汚れたものとして扱いがちで

ハートマークはどこにある

胸にある

頭にはない

胸に穴が開くってこと
わかるんだよ
僕の詩をもつて

サービス

何だったんだろう、あのサービス
というような、サービスサービスう

レベルの1勇者に

エクスカリバーを持たせてみたい

僕は善行を積みたかったのだ

罪滅ぼしもかねて

ええ、どこでキレても

おかしくないところだった

しかし果たせるかな

このキャリア、このスキル

絶対に食って寝て酒飲んでるだけの生活に
戻ってやりましょうね！

十分条件

学校の恩師たちでも
精神医療の問題は
理解できなかったと思う

しかし今日日

精神医療の問題に
対処できなければ
教育として十分でない

あんなに優しい子が
なんであんなに怒っているか
おわかりでない

もう皆さん知るところか
ご存知、ないのですか？



異論三歌

変な米食つてる
炊き立てはまだいい
けど少しすると
パラパラ
ぺしゃぺしゃ

繰り返し
聴くに堪えるに
できている
けど聴かない
僕が作ったからだ

もちろん
幻聴でない
こともある
なら、それは
僕の関知するところでは
ない

ギャロップ

たぶん失望されたと思い
失望された方がいい

元々そんなデカイものではないので

ダメな奴だと思われてれば
イヤな仕事も回ってこない

これ、至高

ダメな人たちが、好きなんだ
ええ、僕もダメなんですから

組しやすしと見る

そしてダメに見えてれば

ぎゃふんと言わせてやりましょう

ギャツプギャー

こっちゃんこー

わかるわよ

先生も若いころそうだった

などと言われると

ぞわぞわしたというのだ

領土に引きずり込まれる

ような気がして

そうでしょう

こっちゃんこーの人間関係

凡人は無執着の鍛錬がないからな
引っ張り合いになる

無理からぬこと

僕に引きずられ、皆闇堕ち

避けたい事態なのだ

とうちゃこー

できる男？

多方面で

仕事を抱えている

三方面作戦である

私生活を入れると

四方面だ

これをば捌き

返す刀でこれをば

捌き、さば、サバ……

けるかあゝっ

な昨今

You know I am 有能

ネトゲの要領だ

レイドだ

レイドボス、臨界

変形してる、むりぽ

末法の世

年金やめると竹中が

もちろんもちろん踏み倒し

そんな暴挙が通るかや

初手から前借り使い込み

手厚い介護に感謝して

おりますとも、ええ、続けましょう

翻っては小学生が入眠し

〇〇処方され持っている

世も末だ、富山の薬屋事始め

いささかやりすぎてるようだ

障害か、あはは生涯、障がい者
君は芸者が関の山

人間って、何かねえ

プロポーズ？

責任取ってくれる？

と聞かれてあまり意味が分からなく

あ、これはプロポーズだったのだと
しかし性交渉があつたわけでもない

僕はとんちんかんな答えをした

己の人生の責任を取るのは己だけだ

選び取ってきたのなら

誰のせいに行えることがあるうか

他者に責任を委ねているから

そんなに他責的なのだと

自然、
フラれた

ギスギスまったり

我々は

煮ても焼いても食えない隣人に

面した時に

どうするかを

問われているのだ

見てください

ブルース・リーの

敵を屠^{ほふ}った後の表情

切なさ悲しさ

そんなことはできない

愛があれば

怪獣も懐柔されよう

平和ボケでも

いいと思うんです

笹食ってる場合じゃねえと

縮こまる

精神疾患の理由の大半は
性の抑圧にあるとした
フロイト先生のお話は
やはり見るべきものがあると
僕思うわけです

子作りはしてますんで
とか言えちゃう
下町の小僧の雰囲気
の方が好ましいと思う
義父にドン引きされても

草食系とか言つても
やはり若人は欲望の塊
知らないことによつて
ないしは健忘症によつて
欲望の鎌足

国際化？

街を歩いていたら

「外国人いらね、外国人出てけ」
と言われたというのだ

マジ出島

僕、そんなこと言わない
チャカが出てきてしまう
かもしれないからだ

チャイニーズマフィアは
日本人だから襲うのだろうか

彼らはどこでも襲っていた
Oh、平等

ってダメじゃないですか

ガザにガサ入れが

対岸の火事に涙する

此岸が燃えているときに

シンプル・イズ

論理的思考というものが

一度の入院で

ええ、砕け散りました

詩にとっては

よかったかもしれない

奔流^{ほんりゅう}するイメージさ

ときに愛に基づき生きる

れば戦争は止まないか

実は殺し合いのほうが

好きそうだった

そうなんだ

なら、何も言うまい

come on come on talk to me

精神病院

病院に行つて思う

病人ばかりだと

そうでしょう、そうでしょう

そういうところだから

いうて十代からですよ

こんなことがあるうか

ここは天国なんだからと

外国人の言う

ええ、地獄はここに

ずいぶんと気安い世界に生きてるようだ

どれだけ多くの人を切り捨てたかが
こんな場所に集約されている



十分条件



令和八年三月三日 初版発行

著者 多田 龍介

発行者 多田 龍介

発行所 明水工房

